

探訪・明治の村

資料で探る村のすがた



◆期間 平成二十二年九月二十七日(月)～十一月二十六日(金)

◆場所 愛知県公文書館展示室

近年、市町村合併等による行政の広域化・効率化が進み、暮らしやすい社会が形成されてきました。その一方で、人々の地域固有の文化・歴史・慣習などへの関心は次第に薄れつつあります。

私達の住む地域に今一度目を向けていただくため、過去の企画展では地域の原点とも言える、江戸時代の村や城下町を紹介しました。今回は、時世が大きく転換した、明治前半における村の様子に焦点を当てます。

展示では、当時の地方制度と、そこに組み込まれた村の姿、そして古文書を中心に、当時の制度を交えて村人の暮らしぶり等を紹介します。

この企画展を御覧になった方々が、愛知県の歴史、地域の文化、そして公文書館の所蔵資料に興味を持っていただければ幸いです。



愛知県公文書館

- 開館時間：午前9時～午後5時
- 休館日：土曜日・日曜日・国民の祝日
- 〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-3-2
愛知県自治センター7階
- 電話 052-954-6025
- http://www.pref.aichi.jp/kobunshokan/

入場無料



◆ 三河絵図(元豊橋県管轄地絵図) ◆
(明治期) 館蔵



◆ 年々増長掬米覚帳 ◆
明治5年(大脇家文書/寄託)



◆ 愛知県布達 ◆
明治6年 館蔵



◆ 額田郡梅園村地籍字分全図 ◆
明治17年 館蔵



交通案内図